

タイムライン試行版の検討経緯と概要

室蘭開発建設部 治水課長 天野 聡

「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」完成報告
平成29年5月31日（水）
平取町中央公民館 大ホール

《タイムラインとは》

背景

- 2012年のハリケーンサンディによる災害を軽減するための「被害の発生を前提とした事前防災行動計画（タイムライン）」が効果を発揮した。
- ニュージャージー州は大規模な高潮浸水被害が生じた地域であったが、計画に基づいた事前行動により被害を最小限（犠牲者ゼロ）に抑えられた。
- 米国の法体系や行政機構は我が国と異なっており、この行動計画をそのまま適用することは難しいものの、その思想と方法は活用することが可能だとの認識が広まり、日本でタイムラインとして運用され始めている。

タイムラインとは

- 自治体・関係機関・地域住民・民間団体等が、災害やそれに伴うリスクを共有し、災害（警戒）時に、「いつ」「誰が」「何を」するのかを時系列にとりまとめた事前防災行動計画である。これにより迅速に、円滑にそして適確に行動できる。

対象とする災害

- 減災行動を起こすための猶予時間がとれる災害（風水害、土砂災害、高潮災害、暴風雪災害）

《検討の目的》

■水害対応における問題

- 情報収集伝達の不全
- 防災対応の意思決定遅れ
- 災害対応の準備不足
- 対応職員の人材不足

■問題解決に必要な視点

- 災害リスク地域の住民・自治体・防災関係機関が連携し、情報や人員・資機材等を融通しながら地域全体で人命を守る対応を行う体制や関係の構築
- 災害発生の可能性を早い段階から共有し、リードタイムを活かして実施する防災行動

《タイムライン検討の目的と方針》

- 現場対応者の安全を確保しつつ、必要なマンパワーのもとで早めに十分な防災対応を実施するため、意思決定や防災行動を実施する時期を予め整理する。
- 自機関の防災対応の抜け・漏れを防ぎ、他機関の動きを見据えた行動をするため、各機関の防災対応の内容・実施タイミング・支援方法などを一つの表で整理し、確認し合う。
- 各機関が持つ防災情報や防災対応の内容を共有するため、検討過程において地域の住民・自治体・関係機関が顔を合わせて協議・調整を行う。

《検討経緯》

《平成27年度》

H27.12/24

準備会

- ◆タイムラインについて(松尾座長 情報提供)
- ◆地域のリスクを知る(気象台・開発局 情報提供)
- ◆平取・日高・むかわ各町長によるパネル討論

H28.1/29

先進地に学ぶ研修会

- ◆先進事例の紹介(松尾座長・新元氏 情報提供)

1/29

第1回 検討会

- ◆災害シナリオ・リスクの共有
- ◆ワークショップ(想定被害、防災行動、想定課題)

2/25

第2回 検討会

- ◆グループワーク(防災行動の抽出と時系列整理)
- ◆意思決定グループ(体制切替トリガーの設定)

タイムライン (素案)

《平成28年度》

H28.5/31

第3回 検討会

- ◆グループワーク(行動実施時期の整理)

7/22

第4回 検討会

- ◆読み合わせ検討(役割整理・連携課題の確認)

10/26

第5回 検討会

- ◆読み合わせ検討(役割整理・連携課題の確認)

タイムライン訓練用試行版

11/28

タイムライン検証訓練

- ◆机上訓練(時系列に基づく運用シミュレーション)
- ◆防災行動・運用上の課題の抽出・整理

タイムライン試行版

《検討経緯》

検討会準備会



H27.12.24

先進地に学ぶ勉強会



H28.1.29

第1回検討会



H28.1.29

第2回検討会



H28.2.25

第3回検討会



H28.5.31

第4回検討会



H28.7.22

第5回検討会



H28.10.26

第6回検討会(試行訓練)



H28.11.28

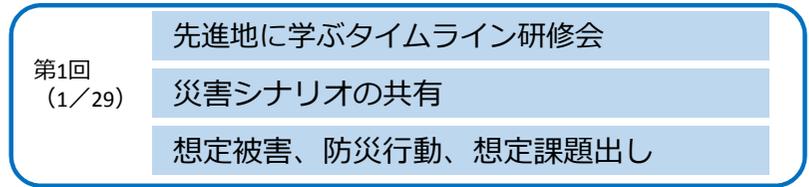
《検討経緯》

平成27年12月24日の準備会を皮切りに、これまで**5回の検討会と検証訓練**を開催。

沙流川流域19の関係機関が参画し、「意思決定」、「住民避難支援」、「住民安全対策」、「河川インフラ対策」、「社会インフラ対策」の**5つのグループに分かれ**、水害警戒時から水害拡大の可能性がなくなるまでの一連の機関における『**防災行動項目、防災行動の実施タイミング**』の**整理、確認**を行った。

検証訓練では、運用上の問題点や課題を抽出し、**試行版を完成**させた。

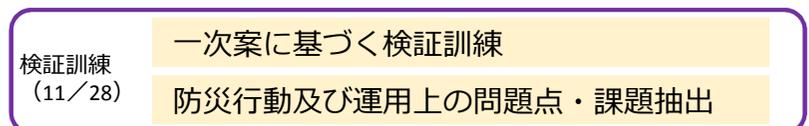
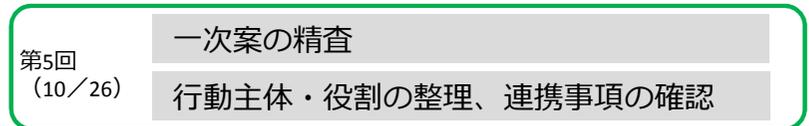
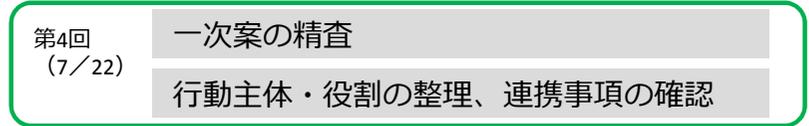
■平取地区タイムライン検討フロー



沙流川平取地区水害タイムライン（素案）



沙流川平取地区水害タイムライン（一次案）



沙流川平取地区水害タイムライン（試行版）

平成27年度

平成28年度

第1回検討会 平成28年1月29日（金）

第1回検討会では、シナリオ災害の際、「どんな被害が想定されるか」、「何をすべきか」、「どんな課題があるか」の3つのテーマごとに取り組むべき防災行動について情報共有した。



参加機関との意見交換



座長の講評



紀宝町の特別講演

第2回検討会 平成28年2月25日（木）

第2回検討会では、前回出された防災行動項目の内容を確認し、各グループごとに行動のタイミングを整理した。



グループワーク



グループ発表



検討会講評

《検討経緯》

第3回検討会 平成28年5月31日（火）

第3回検討会では、昨年度までの振り返りを行った後、タイムライン素案の精査を行った。



昨年度検討の振り返り



意思決定Gの検討結果説明



タイムライン素案の精査

第4回検討会 平成28年7月22日（金）

第5回検討会 平成28年10月26日（水）

第4回、第5回検討会では、素案を精査した「タイムライン一次案」を基に、「読み合わせ」形式で行動主体、役割、連携項目の確認を行った。



座長からの説明



タイムライン読み合わせ



タイムライン一次案精査

検証訓練 平成28年11月28日（月）

検証訓練では、時間経過により発生する気象や水位状況を付与し、関係機関が執る防災行動や情報伝達の内容及びタイミングを確認し、運用上の課題抽出を行った。



訓練内容説明



気象情報の伝達（訓練開始）



平取町からの情報連絡

■ 平取地区タイムライン検討フロー



平成27年度

平成28年度

■ 災害シナリオ・災害リスク

平成15年洪水の実績を基礎に現在の予警報基準を加味して設定

■ 意思決定トリガー

気象庁等の警報や予測情報に基づき意思決定の時期を設定

■ 各機関の防災行動（何を）

既存の計画等をもとに他機関と関わる詳細の防災行動を抽出

■ 行動タイミング（いつ）

防災情報や意思決定に基づき行動の実施時期を設定

■ 防災行動の役割・連携事項（誰が）

防災行動の主体機関・支援機関等を整理し連携事項を確認共有

■ 模擬運用による改善

試行訓練によるタイムラインの課題抽出及び改善を図る

